

2022年11月13日「証詞の応答と近況」

+1 今日はヨナのしるしと題して旧約聖書の記事を新約聖書がいかに取り扱うべきかを考えさせるお話で、私も興味深いものでした。

2 旧約のエレミヤの預言とかイザヤの預言とかにイエス・キリストを思わせる記事があることは、ヨナのしるしと同様の問題を生じています。なんともいえない問題ではありますが、私は積極的に新約聖書の視点から取り入れるのが良いと思います。その方がイエス・キリストの出現の理解の上に適切だからです。ただ旧約聖書の片言隻句を持ち出して自分流に解釈するのは良くないと思います。

3 今日は賈先生の慎重なしかし前向きな大きい流れを私どもに示してくださって有り難うございました。小池健治

+はじめに、賈先生が証詞のために、聖書をご自身の心で読み解き、様々な註解書も読んで間違いが無いかを確認し、長い時間をかけて準備をしてくださることに心から感謝をいたします。

子供たちとヨナの絵本を読んでいた頃は、魚に飲み込まれたヨナが助かったようにニネベの人々が助かったように「何があっても神様はあなたたちを助けて下さるのだから大丈夫」と言い聞かせていた気がします。前回までの証詞を聴いたのちは、改めてヨナ書を注意深く読み直すことが出来て嬉しかったです。

ヨナの生きた時代背景を考え、イエス様の生きた時代もマタイ福音書の書かれた時代も考慮に入れての今週の証詞を聴き、そういうことなのかと腑に落ちた次第です。毎度ながら目からうろこです。

しかしながら、イエス様は答えの分からない4節の謎めいた答えを残して立ち去ったということには、明快な回答がなくやはり頭の中が揺れてしまいます。

賈先生は「イエス様に見捨てられないような信仰者としてイエス様の教えに謙虚に耳を傾けることが出来るように」と祈られました。

聖書を読んでも時のしるしを読み取れない者であったとしても、み言葉を聞いて生き方を反省しイエス様を信じる者となれるのなら我々自身もヨナのしるし・奇跡の一つではないかと思いました。我田引水でしょうか？

この危機的状況の地球上で何が出来るのか？と暗く考えるとき、イエス様に愛され大切にされていると自覚する者は必ず他者をも愛する者となれるのだから、諦めずにそれぞれの出来る事をちょっと負荷をかけてしていくことが良いと思います。小川ひとみ

+イエスは病人を癒したり、四千人に食べ物を与えたり多くの奇跡を行っているのだが、人々はしるしを欲しがった。ギリシア語で「しるし」と「奇跡」は同じ語だ。当時の人々は、メシア待望論を持っていたが、目の前のイエスこそメシアだとは気づかないで、天からのしるしを見せてほしいと願った。「ヨナのしるしのほかには、しるしは与えられない。」と言って、イエスは立ち去られた。謎めいた短い箇所である。

今まで賈先生から、旧約的解釈でヨナ書のお話を伺ってきたが、今回は新約的な読み方を教えていただいた。イエスを中心にして、ヨナを見るとヨナはイエスの予型。三日三晩大魚の腹の中にいたのは、イエスが三日後に墓の中から復活したことを予型論的に示している。

後から、木田献一先生監修の聖書辞典でヨナ書の項目を読んでみた。「一般の預言書と異なり、散文で

描かれた美しい教訓物語である。(中略) 第二イザヤの影響を受けながら(イザ 49:6) 世界宣教の使命を述べたものである。(後略)」そして、「初代のキリスト者は、ヨナの物語の中に、主イエスの復活の預言を読み取っていた」と締めくくられている。

なるほどと思った。二つの読み方を教えていただいて、少しずつ、聖書をもっと学びたいと願うようになってきた自分に気づく。宮崎亮子